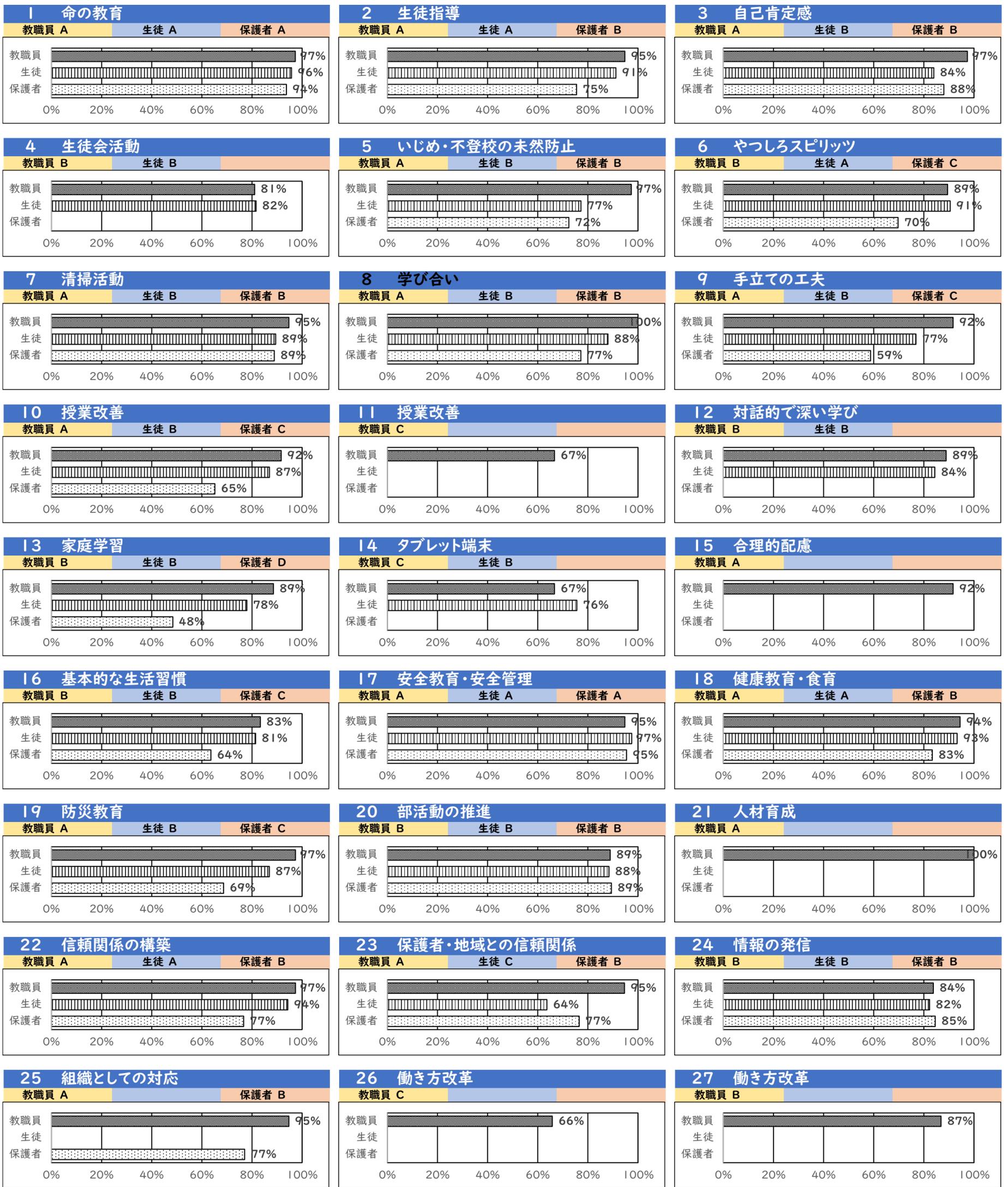


# 令和7年度〈前期〉学校評価

学校名 八代市立第一中学校

評価基準 4: と思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: と思わない  
 達成率 4または3と回答した割合  
 評価 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満



## 前期のまとめと後期に向けて

生徒たちは比較的落ち着いた生活を送ることができており、体育大会等の学校行事にも3年生や生徒会執行部が中心となり、意欲的に取り組んでいた。アンケートの結果を見ると、保護者の評価が70%を下回る項目が多い。学校に対する期待の表れと考え、より一層家庭と連携・協力し、子供の成長を見守ってきたい。

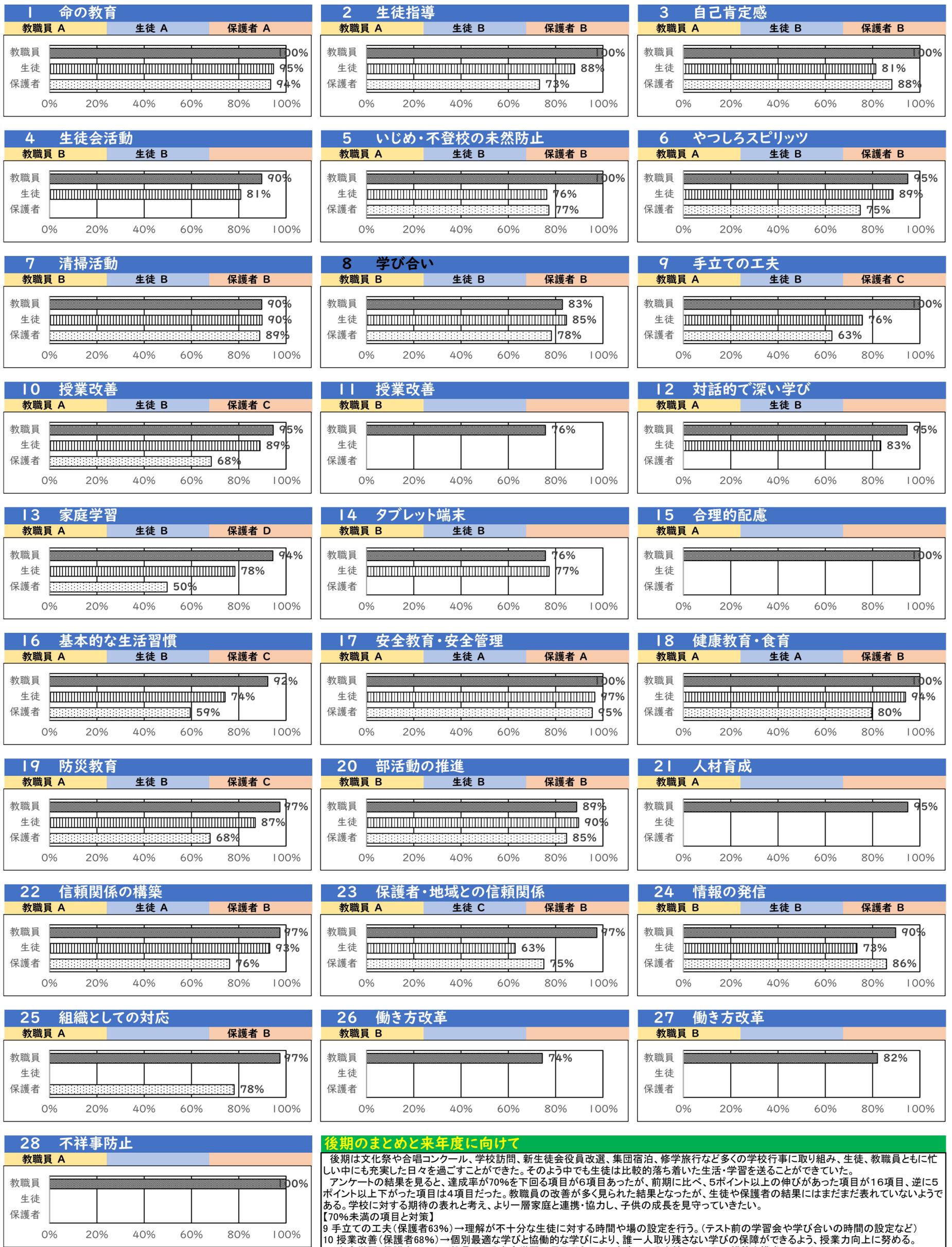
### 【70%未満の項目と対策】

- 6 やつしろスピリッツ(保護者70%)→挨拶・聞き方・そろえ方の大切さを学校と家庭で連携し、子供たちにしっかり伝えていく。
- 9 手立ての工夫(保護者59%)→理解が不十分な生徒に対する時間や場の設定を行う。(テスト前の学習会や学び合いの時間の設定など)
- 10 授業改善(保護者65%)→個別最適な学びと協働的な学びにより、誰一人取り残さない学びの保障ができるよう、授業力向上に努める。
- 11 授業改善(教職員67%)→後期は全員が授業公開をし、外部からの指導・助言を受ける予定である。
- 13 家庭学習(保護者48%)→教員による家庭学習の見取りを行い、家庭による点検システムの構築を模索していく。
- 14 タブレット端末(教職員67%)→職員研修によるスキルアップと効果的な活用について研究していく。
- 16 基本的な生活習慣(保護者64%)→3点固定(起床・就寝・学習時間)について、学校と家庭で連携して、健康と自律力等を育てていく。
- 19 防災教育(保護者69%)→マイタイムラインの作成・見直し・確認等を定期的に行い、日頃からの備えが必要であることを伝えていく。
- 23 保護者・地域との信頼関係(生徒64%)→地域貢献や地域に親しむ活動等を考えていく。
- 26 働き方改革(教職員66%)→研修等を通して、教職員の意識改革と子供と向き合い時間の確保の工夫を全職員で考えていく。

# 令和7年度〈後期〉学校評価

学校名 八代市立第一中学校

評価基準 4: と思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: と思わない  
 達成率 4または3と回答した割合  
 評価 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満



## 後期のまとめと来年度に向けて

後期は文化祭や合唱コンクール、学校訪問、新生徒会役員改選、集団宿泊、修学旅行など多くの学校行事に取り組み、生徒、教職員ともに忙しい中にも充実した日々を過ごすことができた。その中でも生徒は比較的落ち着いた生活・学習を送ることができていた。  
 アンケートの結果を見ると、達成率が70%を下回る項目が6項目あったが、前期に比べ、5ポイント以上の伸びがあった項目が16項目、逆に5ポイント以上下がった項目は4項目だった。教職員の改善が多く見られた結果となったが、生徒や保護者の結果にはまだまだ表れていないようである。学校に対する期待の表れと考え、より一層家庭と連携・協力し、子供の成長を見守っていききたい。  
**【70%未満の項目と対策】**  
 9 手立ての工夫(保護者63%)→理解が不十分な生徒に対する時間や場の設定を行う。(テスト前の学習会や学び合いの時間の設定など)  
 10 授業改善(保護者68%)→個別最適な学びと協働的な学びにより、誰一人取り残さない学びの保障ができるよう、授業力向上に努める。  
 13 家庭学習(保護者50%)→教員による家庭学習の見取りを行い、家庭による点検システムの構築を模索していく。  
 16 基本的な生活習慣(保護者59%)→3点固定(起床・就寝・学習時間)について、学校と家庭で連携して、健康と自律力等を育てていく。  
 19 防災教育(保護者68%)→マイタイムラインの作成・見直し・確認等を定期的に行い、日頃からの備えが必要であることを伝えていく。  
 23 保護者・地域との信頼関係(生徒63%)→地域貢献や地域に親しむ活動等を考えていく。  
 以上6項目と5ポイント以上下がった項目については、本校の課題として捉え、より具体的な改善策と取組を協議・検討し、来年度の教育活動につなげていきたい。

4：思う 3：どちらかというと思う 2：どちらかというと思わない 1：思わない

Table with columns: 重点努力事項, 対象者, No., 具体的評価項目, 前期 (4+3の割合), 後期 (4+3の割合), 伸び (後期-前期), ±5.0% Δ ▼. The table is organized into three main vertical sections: 「豊かな心」の育成, 「確かな学力」の育成, and 「健全な体」の育成. Each section contains multiple rows for different evaluation items, with sub-rows for staff, students, and guardians. The final section, 「信頼される学校づくり」, includes items like human resources, trust building, information dissemination, and safety.